

第4次箕面市障害者市民の長期計画（みのお'N'プラン）策定にかかる アンケート調査 単純集計（障害者差別解消関連のみ抜粋）

障害児者

実施期間：1月中旬～2月中旬

回答数：

区分	回答数	配布数
18歳以上	1,004	1,581
18歳未満	264	407

問29（1） 障害があることで差別を受けたり、嫌な思いをした経験

	18歳以上		18歳未満	
	回答数	構成比	回答数	構成比
よくある	65	6.5%	13	4.9%
ときどきある	186	18.5%	89	33.7%
あまりない	190	18.9%	36	13.6%
まったくない	299	29.8%	44	16.7%
わからない	212	21.1%	79	29.9%
無回答	52	5.2%	3	1.1%
合計	1,004	100.0%	264	100.0%

問29（2） 差別を受けたり嫌な思いをした場面（複数回答）

	18歳以上		18歳未満	
	回答数	構成比	回答数	構成比
学校など／幼稚園、保育所など	43	9.8%	90	65.2%
会社、職場など	105	23.8%	0	0.0%
入所している施設や通所先の事業所、 障害福祉サービスを受けているとき	47	10.7%	7	5.1%
公共交通機関を利用するとき	85	19.3%	27	19.6%
お店を利用するとき	91	20.6%	33	23.9%
病院などの医療機関	46	10.4%	10	7.2%
市役所などの公共施設	26	5.9%	11	8.0%
まちを歩いているとき	115	26.1%	30	21.7%
その他	59	13.4%	15	10.9%
有効回答数	441	100.0%	138	100.0%

問 29 (3) 差別を受けたり嫌な思いをしたときの相談相手 (複数回答)

	18 歳以上		18 歳未満	
	回答数	構成比	回答数	構成比
家族、親戚	201	45.6%	95	68.8%
友人、知人、近所の人	69	15.6%	28	20.3%
病院の医師や看護師	44	10.0%	7	5.1%
障害福祉事業所の職員やヘルパー	54	12.2%	12	8.7%
相談支援事業所の相談支援員	32	7.3%	13	9.4%
学校や会社、職場の人 / 幼稚園や保育所、学校の人	25	5.7%	42	30.4%
当事者団体、家族会	13	2.9%	0	0.0%
市役所の職員	6	1.4%	6	4.3%
相談できる人がいなかった	50	11.3%	5	3.6%
どこに相談していいかわからなかった	43	9.8%	9	6.5%
その他	37	8.4%	15	10.9%
有効回答数	441	100.0%	138	100.0%

問 30 差別に関する相談窓口の認知度 (複数回答)

	18 歳以上		18 歳未満	
	回答数	構成比	回答数	構成比
箕面市障害福祉室	254	25.3%	47	17.8%
箕面市人権施策室	72	7.2%	29	11.0%
その他の市の担当部署	5	0.5%	1	0.4%
委託相談支援事業所	37	3.7%	1	0.4%
知らない	606	60.4%	192	72.7%
有効回答数	1,004	100.0%	264	100.0%

健常者

実施期間：1月中旬～2月中旬
 回答数：571（配布数：1,000）

問5 身近に障害のある人がいるか（複数回答）

	回答数	構成比
自分自身または家族等身近な親族にいる・いた	185	32.4%
学校にいる・いた	171	29.9%
自分の職場にいる・いた	139	24.3%
仕事関係（自分の職場以外）にいる・いた	82	14.4%
隣近所にいる・いた	115	20.1%
趣味等の活動の場にいる・いた	38	6.7%
その他	15	2.6%
身近にいたことはない	108	18.9%
わからない	18	3.2%
有効回答数	571	100.0%

問6 障害のある人が困っているときに手助けをした経験

	回答数	構成比
ある	376	65.8%
ない	190	33.3%
無回答	5	0.9%
合計	571	100.0%

問7(1) 手助けをした理由（複数回答）

	回答数	構成比
身近に障害のある人がいて、その大変さを知っているから	134	35.6%
近所付き合いや親戚付き合いなどで	33	8.8%
困っているときはお互い様という気持ちから	249	66.2%
自分の仕事に関連して	76	20.2%
将来、自分も障害者になるかもしれないから	59	15.7%
障害のある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから	204	54.3%
障害のある人への手助けを求めるキャンペーンなどを見たから	5	1.3%
何となく	47	12.5%
その他	12	3.2%
無回答	0	0.0%
有効回答数	376	100.0%

問7(2) 手助けをしなかった理由(複数回答)

	回答数	構成比
自分が何をすればよいのかわからなかったから	35	18.4%
どのように接したらよいのかわからなかったから	35	18.4%
お節介になるような気がしたから	23	12.1%
専門の人や関係者に任せたいと思ったから	18	9.5%
自分にとって負担になるような気がしたから	7	3.7%
困っている障害者を見かける機会がなかったから	112	58.9%
その他	11	5.8%
特に理由は無い	19	10.0%
わからない	3	1.6%
有効回答数	190	100.0%

問8 「共生社会」という考えかたを知っているか

	回答数	構成比
知っている	270	47.3%
言葉だけは聞いたことがある	191	33.5%
知らない	104	18.2%
無回答	6	1.1%
合計	571	100.0%

問9 「障害のある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だ」という考えかた

	回答数	構成比
そう思う	337	59.0%
どちらかといえばそう思う	153	26.8%
どちらかといえばそう思わない	7	1.2%
そう思わない	4	0.7%
一概に言えない	50	8.8%
わからない	14	2.5%
無回答	6	1.1%
合計	571	100.0%

問10 「障害者差別解消法」の認知度

	回答数	構成比
法律の内容も含めて知っている	51	8.9%
内容は知らないが、法律ができたことは知っている	139	24.3%
知らない	362	63.4%
わからない	12	2.1%
無回答	7	1.2%
合計	571	100.0%

問 11 障害を理由とする差別や偏見があると思うか

	回答数	構成比
あると思う	287	50.3%
ある程度はあると思う	233	40.8%
あまりないと思う	27	4.7%
ないと思う	9	1.6%
わからない	9	1.6%
無回答	6	1.1%
合計	571	100.0%

問 12 経済的な負担を伴う配慮や工夫への対応

	回答数	構成比
負担の程度にかかわらず、配慮や工夫を行う	69	12.1%
可能な範囲の負担であれば、配慮や工夫を行う	365	63.9%
負担がなければ、配慮や工夫を行う	99	17.3%
配慮や工夫を行うことは難しい	12	2.1%
わからない	17	3.0%
無回答	9	1.6%
合計	571	100.0%

問 13 通所施設やグループホームが自宅の近所にできるとしたら（複数回答）

	回答数	構成比
自分の身近で、障害のある人と出会える場所が増えるのはいいことだ	82	14.4%
障害のある人が地域の中であたりまえに暮らす場所が増えるのはいいことだ	275	48.2%
障害のある人が身近にあたりまえに暮らす地域は、誰にとっても暮らしやすい地域だと思う	273	47.8%
きちんと事前に説明があれば近所に出来ても構わない	193	33.8%
施設の種類やどんな人が利用するかによって、考えかたが変わると思う	117	20.5%
自宅から離れていけばよいが、近所にできてほしくない	32	5.6%
わからない	22	3.9%
その他	7	1.2%
有効回答数	571	100.0%

問 14 「自宅から離れていけばよいが、近所にできてほしくない」と思ったきっかけ
(複数回答)

	回答数	構成比
自分自身や身近な人の直接の経験から	9	28.1%
テレビや新聞のニュースから	11	34.4%
インターネット情報から	3	9.4%
人に聞いた話から	1	3.1%
特に理由はない、なんとなく	12	37.5%
その他	4	12.5%
有効回答数	32	100.0%

問 15 自分や家族が障害者になる可能性の想定

	回答数	構成比
よく考えることがある	97	17.0%
たまに考えることがある	319	55.9%
あまり考えたことはない	123	21.5%
まったく考えたことはない	11	1.9%
わからない	9	1.6%
無回答	12	2.1%
合計	571	100.0%

問 16 自分や家族が利用する場合の施設や住まいの希望 (複数回答)

	回答数	構成比
住みなれた地域にあること	363	63.6%
気の合う仲間がいたり家庭的であるなど親しみやすい 雰囲気があること	362	63.4%
困りごとなどを気軽に相談できること	386	67.6%
本人に合った手厚い介助や支援を受けられること	409	71.6%
他の利用者やその家族と交流できる機会があること	165	28.9%
地域に開かれていて、交流の機会があること	144	25.2%
その他	8	1.4%
わからない	17	3.0%
特になし	4	0.7%
有効回答数	571	100.0%

問 17 障害者が地域で暮らすことについての社会の理解

	回答数	構成比
理解があると思う	31	5.4%
どちらかといえば理解があると思う	236	41.3%
どちらかといえば理解がないと思う	179	31.3%
理解がないと思う	31	5.4%
わからない	88	15.4%
無回答	6	1.1%
合計	571	100.0%

問 18 どのような取り組みがあれば理解が進むか（複数回答）

	回答数	構成比
学校教育の中で障害に対する理解を深める	140	66.7%
障害のある人に対するボランティア活動を支援する	71	33.8%
子どもの時から障害のある人とふれあう機会を増やす	136	64.8%
イベント等を通じて障害のある人と市民との交流の機会を増やす	83	39.5%
テレビ・新聞や行政の広報・ホームページ等を活用した啓発活動を充実する	49	23.3%
福祉に関する市民講座や講演会等を通じた啓発活動を充実する	34	16.2%
障害者団体の活動をもっとPRする	53	25.2%
その他	5	2.4%
わからない	19	9.0%
特になし	1	0.5%
有効回答数	210	100.0%